



ウィークリー・ニュースレター
2021年2月12日～18日
日本時間 2/19 午前1時 配信



月曜の朝、美しいエズレルの谷をジョギングしながら、私はテレグラムで周りの景色を写真に撮って共有し、続けて質問しました。「あなたは今朝、どこを散歩していますか？」その後続く展開は素晴らしかったです。世界中から 1000 以上の方が返信して、写真をシェアしてくれました。ニュージャージー州から ノース・テキサス、スイス、西オーストラリア、ルーマニア、フィリピン。そして ナミビアから オランダまで。主が、いかに広大な行動半径を このミニストーリーに与えてくださったのか、それを視覚に訴える形で見せられて、私は涙が出そうになりました。神はとても良いお方です、そして、主がこのように「ビホールド・イスラエル」を祝福してくださった事に、私は謙虚になりました。また、私たちの神は（本当の意味で）「グローバルな神」であることを思い出させて頂きました。私が毎朝 起きて、聖書と祈りの中で時間を過ごすのと同じように、地球上では毎日毎時、どこかの国が朝になり、教会が目覚まし、主の前で ひざまずいている人達がいるのです。神が 24 時間 365 日、ご自身の子らが捧げる“祈りと賛美の絶え間ないコンサート”を経験するのは、どのような 面持[おも]ちか想像してみてください。

北半球に住む友人からの写真で気付いた共通の特徴の 1 つは、現在、雪がたくさん降っているということです。ご存知のとおり、寒い気候はアメリカやヨーロッパだけではありません。イスラエルにも雪が降りました。昨日、ガリラヤの山間部と ゴラン高原は、どちらも冷たくてフワフワした驚きを受けました。エルサレムでさえ、雪に恵まれました。平年では降雪は、年に 1~2 回くらいしかありません。残念ながら、ここガリラヤ地方では、冷たい雨が降っただけでした。

今週は特に忙しいのでお祈りください。インタビュー、ニュースのアップデート、Zoomでの教えなど、いくつかのオンラインイベントに参加します。主が、準備と本番の両面において私を祝福して下さるようお祈りください。繰り返しますが、私はすべてのことで、主の真実が（人々に）聞かれ、主が栄光を受けることを望みます。

私はまた、来週「イスラエルと大患難」という題名の新しいメッセージを収録します。教会である私たちは患難時代が始まる前に携拳されますが、イスラエルは残ります。それは、患難が特に「神の選びの国民」を念頭に置いて練られた計画だからです。この「ヤコブの苦難の時」（エレミヤ書 30 章 7 節）は、信じない異邦人を裁くため、ユダヤ人に“悔い改め”をもたらすため、この 2 つがその目的です。7 年間の裁きが終わると、すべてのユダヤ人は自分達が突き刺した方を認めます。ユダヤ人は遂に彼らのメシヤに目を向け、それですべてのイスラエルが救われます。



ウィークリー・ニュースレター
2021年2月12日～18日
日本時間 2/19 午前1時 配信

わたしは、ダビデの家とエルサレムの住民の上に、恵みと哀願の霊を注ぐ。彼らは、自分たちが突き刺した者、わたしを仰ぎ見、ひとり子を失って嘆くように、その者のために嘆き、初子を失って激しく泣くように、その者のために激しく泣く。

(ゼカリヤ書 12章 10節)

兄弟たち。私はあなたがたに、ぜひこの奥義を知っていただきたい。それは、あなたがたが自分で自分を賢いと思うことがないようにするためです。その奥義とは、イスラエル人の一部がかたくなになったのは異邦人の完成のなる時までであり、こうして、イスラエルはみな救われる、ということです。こう書かれています。

「救う者がシオンから出て、ヤコブから不敬度を取り払う。これこそ、彼らに与えたわたしの契約である。それは、わたしが彼らの罪を取り除く時である。」

(ローマ人への手紙 11章 25～27節)

中東情勢について

朗報です！ イスラエルの経済は縮小しました！ と言っても「縮小」という事実は、実際、良いニュースではなく、良かったのは「減少の度合い」においてです。2020年、イスラエル経済の縮小幅は2.4%止まりで、予想値の3.3～4.6%を大きく下回っています。COVID禍における経済協力開発機構(OECD)諸国の(経済)減少率は世界平均で5.5%ですから、イスラエルは非常に強く見えます。政府の予防接種計画が成功した場合、イスラエル銀行の試算では2021年に6.3%もの回復が見込まれるとしています。

バイデン政権が「フーシ派をテロ組織ではない」と公式に宣言する数日前、イエメンの反政府勢力はサウジアラビア南西部、アブハ国際空港にドローン攻撃テロを実行しました。イラン製「サマド3」ドローン4機を使って、フーシ派は格安航空会社(LLC)「FlyADeal」が運航する民間旅客機エアバスA320を攻撃し、機体から火が出ました。不幸中の幸いで航空機は衝突時、まだ駐機場にありました。これは、このテロ組織による最初のドローン攻撃ではありません。過去には、旅客機と石油生産及び精製施設両方をターゲットにして来ました。「継続的な空爆と、我が国への残忍な包囲に応酬するため 標的を定めている」と、フーシ派反乱軍報道官イエヒア・サライは述べました。バイデン大統領は、この戦いでフーシ派に味方することを選択したようです。フーシ派のテロリスト指定を解除する一方で、彼はサウジアラビアに関して、武器販売を含むいかなる支援も停止しました。

イスラエルのベンジャミン・ネタニヤフ首相は昨日、ついにバイデン大統領の「ノーコールリスト」(※電話してない人リスト)から外れました。両首脳の話は約1時間続き、温かく友好的であると特徴づけられました。長年の個人的な関係を再確認した後、それぞれが既に強い両国間の同盟関係を強化することを約束しました。特にネタニヤフが3月の選挙で勝利した場合、この関係が果たして上手く機能し続けるかどうか興味深いところです。

月曜の早朝、ダマスカス国際空港やシリアの首都周辺地域で爆発音が聞こえました。イスラエルは「イランが、シリア及びその周辺のテロ代理人に、各方面の貯蔵場所で保管してきた武器の輸送を計画している」という情報を受け、ゴラン高原から“地対地ミサイル”が発射され、標的を破壊し、イラン支援の民兵少なくとも9人が死亡しました。これは1週間未満の間で2回目の空爆でした。先週の木曜、イラクからシリ



ウィークリー・ニュースレター
2021年2月12日～18日
日本時間 2/19 午前1時 配信

アに出荷する武器移送を阻むためにドローンが使用されました。イスラエルは攻撃に関するコメントを拒否しましたが、米国の情報当局者は、米国がイスラエルに適切な情報を提供したと述べました。

“イランが支援する民兵組織”に向けた武器の供給を受けている国は、シリアとイラクだけではなく、イエメンの反政府勢力（フーシ派）も、サウジアラビアと戦うため定期的にイランから武器を調達しています。先週、イランから貨物機がレバノンのベイルートにも飛来し、そこにいる代理人のための武器を運びました。間違いなく世界は注目していて、イスラエルとテヘランには緊張の高まりが見て取れます。

イランが支援するテロ集団の1つは、先週、米国に目を向けました。サラヤ・アウリヤ・アル=ダム：「血の旅団の守護者」は、イラク北部、クルド人地域にあるエルビル国際空港に近い米軍基地に向けてロケット弾24発を発射しました。この攻撃で米国籍ではない民間の請負業者が死亡、米国の軍人1人を含む、少なくとも9人が負傷しました。この挑発は、バイデン政権がどのように反応するか見るための判断材料となるでしょう。仮に、彼が何もしないことを選択した場合、イランはそれを（無言の）メッセージとして受け取り、それに応じて行動するはずですが。

イスラエルのような小さな国では、国民を本当に防衛するのは自国の空軍力です。それは国境線を死守するのに有益だけでなく、深刻な脅威が、実際に深刻な脅威と化す前に対処する術を提供してくれます。イスラエルの防空戦力を強く保つために、イスラエル空軍の司令官 アミカム・ノルキン少将は、先週 サプライズ演習を開始しました。“ベレド・ハガリル”又は“ガリラヤ・ローズ”と名付けられたこの軍事演習は、もともと来週に予定されており、対ヒズボラ全面戦争のシナリオに焦点を当てていました。訓練の主要目的の1つは、空軍が奇襲に備えることでした。さて、1週間早く演習を始めるよりも、奇襲に備えるもっと良い方法とは何でしょう？ それは大規模演習で、1日に3000を超えるターゲットに模擬攻撃を行って見せました。うまくいけば、イスラエルに対して悪意を持っている周辺諸国は、私たちの空域に侵入することを少し躊躇[ためら]うようになるでしょう。

月曜、イランは国際原子力機関(IAEA)に、核監視機関がイランの核施設で自発的な査察を行うことをもはや許可しないと知らせました。水曜には、続報を出しました。イランは、ナタンツの原子力施設に遠心分離機を追加設置します。これに対し、国際社会は、屈服する前に手を揉む（※口裏合わせ）大討論会に集まる可能性があります。バイデン政権が「すべて口先だけで、行動なし」の群衆に参加することを期待してください。

再びロシアが、イスラエルのニュースに戻って来ました。先週、プーチンの軍事援助が40年近く行方不明だったイスラエル国防軍(IDF)兵士2人の遺体捜索を手伝っているのを見ました。今週はロシアが、シリアとイスラエル間の人道的取引を仲介して助けました。シリア国営ニュースが、国境を「誤って」越えたと報じている 正統派のユダヤ人少女は、2週間前シリアによって拘留されました。ロシアは、彼女を帰国させる取引を成立するため介入しました。この取り決めでは、イスラエルのゴラン高原地域に家を建てようとするシリア国民2人の釈放と引き換えに、少女が戻って来ます。シリア人の1人 ニハル・アル=マクトは、数多くの懲役刑に服しました。彼女は2020年に再逮捕され、治安違反で3年の刑を宣告されました。もう1人の囚人 ディヤブ・カフムズは、ヒズボラの構成員であり、武器輸入、麻薬密売、敵への情報提供など、数多くの有罪判決を受けています。彼は2018年に14年の刑を言い渡されました。その刑量の囚人を釈放することは高額な代償と思われるかも知れませんが、実際にはイスラエルにとってかなり安価です。10年



ウィークリー・ニュースレター
2021年2月12日～18日
日本時間 2/19 午前1時 配信

前、1,027人の囚人が、イスラエル兵士ギラド・シャリットの帰還と引き換えにハマスに釈放されました。

ミニストリーについて

ビッグテックによる検閲と格闘中ですが、私たち「ビホールド・イスラエル」は、尚もインターネット・プラットフォームでの活動を推し進めています。私たちは、追い出されるまで Facebook に居続けますので、そこで私たちと友達になってください。また、YouTube で「ビホールド・イスラエル」にチャンネル登録することもできます。Twitter を離れてからは、Telegram (テレグラム) に移行しています。私のアカウントに繋がってください。そうするには、アプリをダウンロードし、Amir Tsarfati を検索してから、私のページで「参加」をクリックする必要があります。最後に この「ニュースレター」をまだ購読していない友人がいる場合は、ウェブサイトへのリンクを送って、サインアップするよう勧めてください。

先週 土曜日、私は「預言座談会」で ジャン・マーケルさんと バリー・スタグナー牧師と素晴らしい時を過ごしました。私たちは「アメリカは世界リーダーの座から降りるのか」というテーマで話合いました。もし見逃した場合は YouTube でご覧ください(※英語のみ)。火曜日には、アミール・ツアルファティと バリー・スタグナー牧師で「Q&Aセッション」を行います。また、次回 2月27日(土)の 預言座談会は「携拳後の世界で生きる」がテーマです。あなたの予定表にチェックを付けておいてください。決して、取り残されないように！

2月20日(土) YAD*ミニストリー の番組「御言葉、世界、あなた」では、私にインタビューを敢行します。内容は「人生の岐路に向き合う」です。若い頃の人生と、主に導かれた時のことについて多くを分かち合います。あなたの周りの若者たちに、このイベントに参加するよう勧めてください。そして、毎週行っているYADの「Zoomコール」もお忘れなく。(※YAD=ヤングアダルト(18~26歳)弟子育成プログラムの略)

先日の「オンライン祈禱会」は格別なものでした。世界中に散らばっている神の教会が、主の晩餐を共にするため一堂に集まりました。私たちは地域教会が担うべき役割に取って替わる意図で行ったものではありません。むしろ私たちは、コロナ禍のために母教会で聖餐式を祝えなかった世界中の信徒たちにチャンスを提供したいと願いました。聖霊は神をたたえ、素晴らしい証しを聞き、私たちは祝福された時を持ちました。次回 月曜 午前10時(PST) [※日本時間 火曜 午前3時] にまたお会いしましょう。

最後に、このミニストリーへの財政的支援に感謝します。皆さまが進んで捧げてくださる犠牲は大変大きな意味があり、私ども「ビホールド・イスラエル」が世界中で、神の御言葉の真理を分かち合うことを可能にするものです。

それにも増して、皆さまの祈りに感謝します。「ビホールド・イスラエル」は、神の祝福と 聖霊の力なくしては存在し得ないミニストリーです。では、皆さんの祈りが一体どのようにして、神の祝福をこのミニストリーにもたらすのでしょうか？正直、私には分かりませんが、祈りは麗しい“神秘”なのです。それにしても“神殿の幕が裂けた後(興された)”教会として、私たちが頂いている、天地万物の創造主と“直[じか]にお会いできる”という「贈り物」は、なんと素晴らしいものなのでしょう。私たちには司祭や仲介者は必要ありません。「玉座の間」への扉は大きく開いており、私たちの“主/王/父”は「入って来なさい。し



ウィークリー・ニュースレター
2021年2月12日～18日
日本時間 2/19 午前1時 配信

ばらく話しましょう」と仰います。

ですから、その機会を疎[おろそ]かにしないでください。毎日 主の御前に歩み出てください。主がどれほど素晴らしいか、御前で数え上げてください。主の驚くべき祝福、特に“あなたの救い”が、堅固に守られていることに感謝します。あなたの罪を主に告白してください。心配ご無用です、神はすでにすべてを知っておられ、それら全部を織り込んだ上で、尚、神はあなたを愛しています。そして、あなた自身のこと、あなたの家族、あなたの教会、あなたの国のことを尋ねて来られます。栄光の王は、あなたの口から聞きたいのです。今すぐにも主の招きに応答して、主と交わる時間を取り分けてみてください。

こういうわけですから、兄弟たち。私たちは、イエスの血によって、大胆にまことの聖所に入ることができるのです。イエスはご自分の肉体という垂れ幕を通して、私たちのためにこの新しい生ける道を設けてくださったのです。また、私たちには、神の家をつかさどる、この偉大な祭司があります。そのようなわけで、私たちは、心に血の注ぎを受けて邪悪な良心をきよめられ、からだをきよい水で洗われたのですから、全き信仰をもって、真心から神に近づこうではありませんか。

(ヘブル人への手紙 10章 19～22節)

主の再臨を待ち望み、
アミール ツアルファティ

<https://mailchi.mp/beholdisrael/amirs-weekly-roundup-july-7-22-1006373>

<NEWS>

■イラク北部でロケット攻撃、民間人請負業者に死傷者

2021年2月17日

シーア派 民兵組織がイラク北部の米軍基地にロケット弾 12 発以上を発射。国籍不詳の民間人請負業者 1 人が死亡した他 負傷者が出た。犯行グループはイランの支援で動いていると見られている。

■ダマスカス近郊にあるイラン利権をイスラエルが攻撃、死傷者あり

2021年2月16日

イスラエル国防軍 (IDF) は月曜の早朝、シリア首都地域で複数の目標を攻撃した。伝えられるところでは、攻撃には“地対地ミサイル”が使用され、イランが支援する戦闘員 9 人が死亡した模様。

■国交正常化に続いて、UAEはイスラエルに初となる大使を任命

2021年2月15日

大使は日曜日、シェイク・モハメド・ビン・ラシード・アル・マクトゥーム（首相）の前で宣誓して就任。これは、テルアビブに大使館を開設するというアラブ首長国連邦の公約に従ったもの。



ウィークリー・ニュースレター
2021年2月12日～18日
日本時間 2/19 午前1時 配信

■COVIDによる渡航制限下で、エチオピアからユダヤ人がイスラエルに帰還
2021年2月13日

今週末、複数のエチオピア系ユダヤ人が、国際キリスト教大使館エルサレム(ICEJ)の仲介で、イスラエルの地に到着。ニコラス・オティエノ牧師：私たちは、エチオピアからのユダヤ人の帰還に神の預言的な御手があり、これをサポートしたいと考えています。

■イラン、たび重なる「核合意」違反で、金属ウランの製造に着手
2021年2月12日

IAEAは、イラン政権が2015年に合意した条件に違反する、新たな一步を踏み出したことを明らかにした。金属ウランは核兵器の「コア」(中心部)製造に使われる物質。イランは核兵器研究への関与を否定し続けている。

以上